

2013 **10**

20号

独立行政法人
国立病院機構
National Hospital Organization



Matsumoto Medical Center

まつもと医療センター

松本病院
中信松本病院

- ◆院長講話.....2
- ◆まつもと医療センター病院祭のお知らせ.....3
- ◆ロビーコンサート.....4
- ◆医療安全研修会・災害訓練.....5
- ◆小児科紹介.....6
- ◆リレーフォーライフ・神経・筋疾患ネットワーク研究会・市民公開講座2013.....8
- ◆講演会(DPC)・夢来商工員祭り・車座健康講座.....9
- ◆肛門外科渡辺医院ご紹介.....10
- ◆新任医師紹介・松本ほんぼん・児童書の寄贈.....11
- ◆お知らせ.....12

院長講話

「まつもと医療センターの
現在の取組と将来展望」



院長 北野 喜良
きたの きち よし

〜ころばんぞう〜

七月三十日に中信松本病院、三十一日に松本病院において第一回目の院長講話を行いました。出だしは恥ずかしながら『ころばんぞう!』。まつもと医療センターのホームページには「ころばんぞう体操」がアップされており、当センターのTシャツのキヤクターはゾウさんです。病院もころばんぞう! そうならないために『リフレクション!』すなわち、毎日自分達の姿を鏡に照らして、悪いところは反省して改め、いいところはさらに伸ばしていくというreflective practitioner(反省的实践家)の在り方。平成二十五年度の合言葉は『ころばんぞう!』です。

今回、院長講話の内容に一部最新の情報も追加して「当センターの現状と取組と将来展望」について述べたいと思います。我々は八年前から深刻な経営危機を迎え、病院一丸となって経営改善に取組んできました。

そうした過程の中で、五年前の平成二十年に松本病院と中信松本病院が組織統合し、次第に赤字幅は減少し、平成二十四年度はついに黒字を達成することができました。まつもと医療センターの家計簿の「号外」で職員皆にお知らせしましたが、その達成により多額の借入金の免除が実施されることになりました。これは職員が一丸となって努力した賜です。やればできるということも証明されました。

遡れば、昨年八月に一体化整備・運営推進プロジェクトチームによる「新病棟建設に向けて」今、何が必要か」の職員説明会を行い、病院のビジョンや目標を示し、工程表を作成して実行してきた結果にほかなりません。今年の一月に私は所信表明で三つのこと(第一に「和」、第二に「平成二十四年度の黒字化」、第三に「早期の新外来棟完成」)を述べましたが、第二は達成されました。設計図によりますと、完成の暁には新病棟正面の最上階に「まつもと医療センター」がLEDライトで明るく照らし出され、おそらく、遠くからも輝いて見えることでしょう。

さて、平成二十五年度の病院目標は、①新病院の運営体制を構築する、②良い人材を育成する、③経営を安定させる、です。目標①の達成のために、新病棟にスムーズに移行できるように各部門の業務や委員会の統一を図り、病院幹部体制を強固なものにするともに、医療機器の整備や電子カルテ導入を進めるとともに地域との連携も図っています。目標②の具体的な方策として、学会参加費や旅費、論文投稿費などを病院で負担する

ようにしました。学会や論文での発表が増えれば、職員のキャリアアップのみならず病院の診療レベルの向上につながると信じております。臨床研究にも力を注ぎたいと思います。また、今回強調したいことの一つは、各々の職場環境をどうしたらよいか自分達でよく考えて実践していくという姿勢です。これはドナルド・ショーンが述べている反省的实践家として在り方にほかなりません。環境を整えて、研修医など若い医療者を育成していきたいと思っています。目標③では、平成二十五年度の赤字幅を増大させ、少しでも早く新外来棟を整備につなげたいと思います。そこまでたどり着くと「治す医療から支える医療まで」バランスよく提供できる体制が整い、加速的にまつもと医療センターは発展するでしょう。

今年度は、これら三つの病院目標に加えて医療ミス・事故のムダをなくす5S活動に取り組んでいます。また、夢来商工会夏まつりやリレー・フォー・ライフ、しおじり・Life・Etoに参加するなどの地域活動も積極的に行っていきます。



第5回

まつもと医療センター

病院祭

～広げよう夢と絆～

平成25年10月19日(土)
10:00～15:00

まつもと医療センター 松本病院

10:00～10:20

『空手演舞』 空寿会

10:30～11:00

塩尻市立広丘小学校合唱団

11:40～12:40

『0歳から100歳まで楽しめる
マジック・音楽・絵本のコンサート』
大友 剛 さん

13:00～13:40

『フルート演奏』 桂 聡子 さん

14:00～15:00

センター開設5周年記念特別講演
京都大学IPS細胞研究所 副所長 中畑 龍俊 氏

他にも、院内探検ツアーや健康チェック、子ども広場、
屋台、野菜販売など盛りだくさんです！

【お問い合わせ】 まつもと医療センター 管理課
松本市村井町南2-20-30 ☎0263-58-4567



ロビーコンサート199回から200回へ



平成8年11月から始まったロビーコンサート。寿台養護学校の教諭からの発案で生徒さんたちと共に病院で第一回を演奏したのが始まりでした。100回目は平成17年3月に迎えることができました。重症心身障害病棟に入院されている患者様をはじめ当院を利用されている総ての方々に生の演奏を聴いて頂く機会として、また病院と地域をつなげる一環として、地域の皆様等に演奏をお願いし「日々の入院生活に潤いを感じていただきたい」という目的で院内の各部署が協力し、一度も欠かすことなく毎月実施して参りました。

200回目を迎える前月の6月20日に開催された第199回目は、病院職員による演奏会が行われました。北野院長がフルート、大原副院長は声楽で、武井臨床研究部長はピアノで参加いただき、重症心身障害病棟からも療養介助員の酒井さん、藤田さん、山田さん、そして患者さんが共に歌やギターで盛り上げていただきました。筆者もサ



北野院長と大原副院長♪

ックス演奏で参加させていたいただきました。プログラムは、広いジャンルで、キャンディー、ズからジャズ、叙情歌、映画音楽、クラシックまで各演奏者が交代で演奏し、最後は「ふるさと」を皆で演奏、会場も一緒に盛り上げて下さいました。

いよいよ7月18日は200回目を迎え、冒頭の北野院長の素敵な挨拶の後、100回目記念の時も演奏していただいた松本第一高等学校から、約50名の吹奏楽部の皆さんがおいでいただき重厚なブルース編成で、女々しくて（ゴールデンボンバー）、ダイヤモンド、宝島、会いたかった（AKB48）など皆さんがよく知っている曲を高校生のユーモアたっぷりのかわいい司会を交えて奏でてくれました。最後は「花は咲く」が演奏され、お客さんの中には涙ぐむ方もいらっしゃいました。

このロビーコンサートは患者さん方の「潤いの時間」などを目的に行っている



ますが、高校生の皆さんも色々感じてくれたようでした。「演奏してとっても楽しくて、感動しました」（クラリネット3年生）「演奏する前はみなさんに元気を与えたいと思ってきましたが、反対に私たちが元気をもらい、泣いている子もいました。感動する時間を過ごせました」（トロンボーン3年生）。こんな形で地域の方と病院が影響しあって共に成長できたなら素晴らしいと思えました。200回の歩みが地域の方々に支えてこられたこと、地域と病院の「つながり」の中でできた事に感謝し、これからも良いコミュニケーションが継続し更に深まり、地域から患者さんへ「音楽というプレゼント」が届く機会を続けていきたいと思います。



記念すべき第200回コンサート

療育指導室
にしき
西巻
靖和
やすかず



講演会

「病院の事業継続計画」

9月5日

— 3.11東日本大震災を経験して —

東日本大震災で被災しながら、通常通りの医療を地域の人々に提供し続けた水戸医療センターの取り組みを参考とするため、水戸医療センター園部眞名誉院長を当センターへお招きし、講演して頂きました。

講演の冒頭に震災当時の映像を見せて頂きましたが、1分以上続いた地震、あれほど長く大きく揺れていたことに驚きました。その後の水戸医療センターの災害医療活動には感心することが沢山ありました。一番印象的だったことは、「病院は平常時も災害時も地域の人々のライフラインである」ということでした。近隣の病院が施設の機能を維持できなくなるなか、その施設の患者も受け入れ医療を提供した設備（ライフラインの確保）と医療体制は、これから新棟が建設される当センターも参考にしていく必要があると感じました。

また、放射線汚染地域からの受け入れについても紹介があり、茨城県では国民保護訓練（放射線災害訓練）を実施しており、その時の訓練がとも役にとったとのことでした。

この講演を通して、日頃の訓練がとても重要であることを学びました。最後に、当センターが災害時に地域の人々のライフラインになる活動ができることを期待します。



医療安全管理係長 石井 優子

災害訓練について

まつもと医療センターは防災訓練の一環として、次の災害訓練に参加いたしました。

「日本透析医会災害情報伝達訓練」について、8月30日に災害発生時の透析医療体制を確保することを目的に実施され、「北信地区でM8、震度7の地震が発生した」との想定で、透析患者の受入可能人数などの支援情報を（公）日本透析医会災害時情報ネットワークへ入力し、また支援情報を中信地区基幹病院へ送信する訓練を実施いたしました。



医療救護訓練（トリアージ訓練、朝日村にて）

9月1日に実施された「松本市医療救護訓練」についてですが、災害による負傷者の受入情報等を院内災害対策本部と医師会災害対策本部で情報伝達を行う「情報伝達訓練」と、原子力災害発生を想定し、原子力医

9月8日に実施された「朝日村防災訓練・救護所設置運営訓練」についてですが、朝日村において「地震により家屋が倒壊し負傷者多数」との想定で朝日村から当センターへ医療救護班の派遣要請があり、朝日村健康センターで松下救急科医長を中心とした医療救護班が、朝日村村内の医師・保健師とともに模擬患者による受入トリアージを行いました。



原子力災害対応訓練（スクリーニング訓練）

今後とも地域の防災訓練に積極的に参加して、災害時に機能できるよう訓練を重ねていく必要があります。最後に、訓練に参加していただいた職員の方、ご苦労

管理課 河合 公生
庶務班長

紹介

小児科の診療活動について



統括診療部長
いわさき やすし
岩崎 康
(中信松本病院)

平成20年4月に組織統合により「まつもと医療センター」の発足から6年目になりました。松本病院と中信松本病院の両院にありました小児科は、中信松本病院に集約いたしました。地域の皆様にご理解とご支援をいただき順調に診療をすることができました。心より御礼申し上げます。

この間、小児科医は8人から9人に増員となりました。そのうち7人が小児科学会認定の専門医資格を有しており、小児科全般の診療を広く診療しながらもそれぞれに血液疾患、内分泌代謝疾患、神経疾患、児童精神疾患、腎疾患、循環器疾患の分野におきましては専門性をもって診療しております。特に児童精神・神経学会認定医（山

田医長）、日本腎臓学会認定専門医（北原医長）、小児循環器学会認定専門医（岩崎）はその資格を活かして専門性の高い診療を行っております。

診療の3本柱は引き続き、急性期医療、慢性疾患医療、障がい児・者医療です。今回は小児科一般病棟の北原病棟医長から、小児一般の診療についてご紹介させていただきます。次号では寿台養護学校の校医を務めながら長期入院患児の診療を精力的に行っている山田医長、地域の障がい児・者医療をけん引している重心病棟の石田病棟医長が、最近の診療の様子について書かせていただきます。山田医長と石田医長は、最近地域でもしばしば話題になる発達障害のお子さんの診療も、後進を指導しながら行っております。

充実した小児科医の配置を活かし、将来周産期医療にも対応していけるよう調整してまいりたいと考えております。

また、小児科では後進の教育や地域での貢献も重要な仕事と考えております。

具体的には信州大学の医学部学生 of 早期体験実習（1年生、重心病棟）や臨床実習（5、6年生、一般小児診療）、大学での講義、コメディカル関係の講義や講演会を多数行っております。検診では乳幼児健診のほか、発達評価の検診や教育機関へ出向いての教育相談等を行っています。また、小児科医の不足している丸の内病院には週3回、新生児診療の支援に派遣するなど地域の小児のために力を注いでおります。

地域と深いつながりを持ちながら頑張っていきたいと考えておりますので、引き続きご指導いただきますようお願いいたします。

小児科

急性期医療について



小児科医長
きた はら まさ し
北 原 正 志
(中信松本病院)

まつもと医療センターの発足に伴う小児科の集約化により、松本平を一望できる高台にある、ここ中信松本病院で診療を始め5年半の月日がすでに流れました。松本広域の一次および二次医療機関と連携して入院加療の必要な患者さん、紹介患者さんに対応してきました。松本広域における小児科二次輪番としても平日は火木金曜日、休日は第一日曜日、第二土曜日、第四日曜日、第五の土日曜日を担い、松本市夜間急病センターへの出務による松本市の一次救急医療への協力も継続してきました。

一般小児科病棟、二つの重心病棟の合計3つの病棟での回診および処置と平行しながら救急診療にあたっているため、双方に支障の生じない円滑な診療を行える体制の継続が課題でした。各感染症の

流行期は患者さんの絶対数も膨大で大変ですが、年を追うごとに一次、二次救急の輪番制が徹底されるようになり、当科としても二重三重のバックアップ体制をとることで、ある程度円滑に診療できていると感じています。ただし、感染症の迅速検査の進歩により、おなじ胃腸炎でもロタと非ロタ感染症、インフルエンザでもAとBとで病室を分ける必要性が生じ、これらの感染症が重複して流行する時期のベッド運用には苦慮しています。

また、集中治療の必要な、より重症の患者さんは、信州大学医学部附属病院や県立こども病院へ受け入れを要請し、連携して診療を進めています。重症患者発生時には、小児科医全員集合コールが発せられることも時々あります。このようなか、多くの医療機関の協力と連携のもと、私たちの診療が成り立っていることを日々痛感しており、この場をお借りして各医療機関関係者の方々に感謝いたします。

このような日々の診療の中で、時として経験するまれな疾患や非典型的な症例においても、8人(平

成24年からは9人)の小児科医が協力することで早期診断、早期解決に努めてきました。特殊な検査が必要な場合、まれな疾患で更なる専門的な診療が必要な場合は、信州大学、県立こども病院とも協力していますが、これらの情報を毎朝おこなっているカンファレンスで共有し、さらには毎月第3水曜日の19時から開催している症例検討会で、より詳細に検討しています。下記にいくつかの症例を提示しますのでご参照ください。

このように、急性期疾患を通じて各医療機関との連携がより強固となり、患者さんの利益がより高まるように引き続き精進したいと考えております。

テ ー マ	疾 患 名
下痢、嘔吐を主訴に来院した3か月女児	総胆管拡張症の穿孔
発熱を主訴に来院した日齢15の男児例	ヘルペス脳炎
定期アレルギー検査にて偶然発見された肝機能障害が診断の契機となった先天代謝異常症の兄妹例	ウィルソン病
四肢の筋力低下を主訴に来院した日齢55の女児例	脊髄性筋萎縮症Ⅰ型

リレーフォーライフ 9月14日・15日

スカイパーク、やまびこドームにおいて昨年に引き続きリレーフォーライフ(RFL)が開催されました。RFLは日本対がん協会の全国規模のチャリティーイベントですが、それぞれの地域のボランティアが実行委員として企画運営を行っています。発祥は米国で、24時間ごととむきあっている患者さんに途切れないサポートがあることをあらわすため24時間トラックをリレーして歩く催しです。まつもと医療センターは昨年の第1回に引き続き、参加者の体調を管理する医療班として実行委員会より要請をいただき、院内のがん診療委員会に諮って準備した救護 TENT を会場に設営しました。医師、看護師、事務職の方たちに24時間、交代で TENT における活動を支えていただきました。幸い参加者が体調を大きく崩したり救急搬送が必要な事態もなく、無事役目を終えました。リレーやボランティア活動に参加して下さった職員の皆様も大勢いました。準備は大変でしたが、イベントを成功させたいとの熱意を持った様々な立場の人々との絆を感じられた2日間でした。



外科部長
北村 きたむら
宏 ひろし

神経・筋疾患ネットワーク研究会 6月28日

関東信越ブロックの11病院による「第5回関東信越・ブロック 神経・筋疾患ネットワーク研究会」が初めて関東地区の会場を離れて、信州松本の地で開催されました。各病院から11題の一般報告、当院からも「緑茶の消臭・抗菌効果を利用した手掌環境の改善への取り組み」手指関節拘縮・ミトコン着用患者に茶殻を利用して「タッチケアを用いたコミュニケーションに対する意識の向上」の2題が発表されました。特別講演には信州大学医学部付属病院難病診療センター教授の中村昭則先生に「難治性神経筋疾患に対する在宅療養支援と多施設・多職種連携」として興味深いお話を伺いました。看護師長たちが案内役になつての院内見学では、猛暑の関東からは夢のような立地条件との声が聞かれ、普段当たり前になつてきた澄んだ空気と美しい山々を改めて感謝する思いを抱いた一日でした。



相談支援センター
ソーシャルワーカー
植竹 うえたけ
日奈 ひな

市民公開講座2013を塩尻市内で行いました! 6月30日

今年の市民公開講座は、6月30日(日)に行いました。今まで行ってきた松本病院の会議室から外へ出て行うことにし、候補としてあがったのが、塩尻市民交流センター(通称えんぱーく)です。塩尻市民の方はご存知かもしれませんが、通りを挟んで旧ヨカドーの向かい側に2010年に完成した、市立図書館や会議室、コミュニティ広場、飲食店などが入った複合施設です。3月に申し込みをしたところ、結構予約が入っていて、一番大きな会場は取れず、二部屋続きの会議室をとりました。初めて病院から離れての公開講座でしたので、人が集まるか不安もありましたが、当日は一般参加46名、院内参加20名(計66名)で、今までで一番多くの参加者がありました。今回の内容ですが、7年目にもなりますので、大体のことはふた回りほどしていきますので、呼吸器外科の近藤先生に「肺がんのお話」、血液内科の中澤先生に「血液のお話」、小池が「急を要するおなかの病のお話」というテーマで各々40分程度のお話をしました。毎年そうですが、一般の方に病気の話をする場合、専門用語や略語を使わないで、なるべくわかりやすく、かつ原因から診断、治療までも話すのはかなり大変ですが、近藤先生も中澤先生も聴衆をひき付ける話術が巧みで、途中退出や居眠りをする人もなく、みなさん熱心に聞き入っていました。アンケートの集計結果も好評でした。一部松本市内から遠いというお声もありましたが、かなり良い手応えであったので、来年も塩尻に向いて、できればもう少し大きな会場で行いたいと考えています。



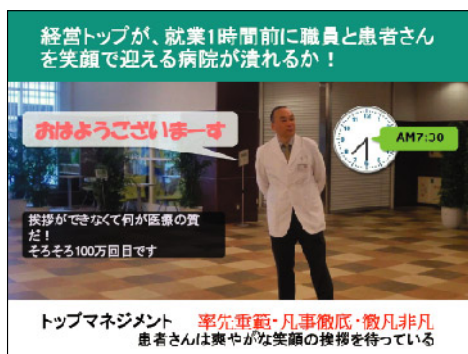
特命副院長
小池 こいけ
祥一郎 しょういちろう

講演会

「DPC導入の光と闇、そして埼玉病院の試み」

8月2日

院長
北野 喜良



「おはようございます」
国立病院機構埼玉病院院長の関塚永一先生は、毎朝七時半より病院玄関のロビーに立ち「おはようございます」と訪れる患者さんと職員全員に声をかけています。その関塚先生をお招きして講演会を開催しました。
埼玉病院は様々な取り組みを先んじて行い、実績をあげております。今回は、特に診療報酬の包括請求化（DPC）について、なぜ導入するのか、DPC診療の基本、実際のノウハウ、データの活用などについてご講演いただきました。講演は一時四十分及び、約百名の職員が聞き入りました。

夢来(ムライ)商工夏まつりに参加いたしました

7月28日

経営企画室長
岩垂 朋昭



まつもと医療センターでは、地域の方々により病院を身近に感じていただくために、これまでも様々なイベントを開催してきましたが、地元である村井地区への地域貢献と新病棟をアピールすることから「夢来(ムライ)商工夏まつり」に参加することになりました。
「夢来商工夏まつり」は村井町商工親和会が主催し、村井町会と小屋町会が後援する、今年で31回目を数える歴史ある地域の夏祭りです。夏まつり当日は、近所の医療機関の先生も来訪し、「新病院の駐車場は何かくらい駐車できるの？」「信松本の跡地はどうなるの？」等質問を頂きました。また、一般の来訪者からも「いつできるの？知らなかった。今度は本当なの？」等新病棟に関する質問を多くいただき、まつもと医療センターへ対する期待を感じることが出来ました。さて、今回院長と副院長のトップによる健康相談があり、院長自ら血圧測定を実施しながら地域の皆さんの健康相談を受ける場面がありました。午後の短い時間帯ではありましたが好評のうちに予定していたイベントを無事終了することが出来ました。
まつもと医療センターでは新病棟の運営体制構築等重要な局面を迎えています。今回の夢来商工夏まつりにより、地域住民に対して少しばかりの地域貢献と、病院をアピールが出来たことと思います。今後まつもと医療センターが地域に愛される病院として地域貢献が出来るよう頑張りたいと思います。

車座健康講座

9月5日

地域医療連携室
小林 和代



まつもと医療センター医師による出張健康講話「車座健康講座」も2年目になりました。第5回目の今回は「知って得する 高血圧にならないために今からできること」と題し、塩尻市吉田地区公民館で循環器内科医長笠井宏樹医師がお話しさせていただきました。血圧とは？という基本的なことから、生活管理、塩分や内服治療についてなどの生活に身近なテーマ、またサッカーワールドカップの試合と循環器疾患との関係などのトピックスも織り交ぜての講演でした。参加して下さった皆さんも、熱心にメモをとりながら聞いて下さっていました。
講演の後には、塩尻市ヘルスアップ委員会の皆さんが「てぬぐい体操」を実演してくださり、笠井医師も楽しく参加させていただきました。
皆さんの地域でも、車座健康講座のご希望がありましたら、松本病院地域医療連携室までお気軽にご連絡ください。

肛門外科渡辺医院紹介



わたなべ とよあき
渡辺 豊昭 先生



〒399-0035 長野県松本市村井町北1-2-50
TEL(0263)86-2016

URL : <http://watanabe-clinic.main.jp/hajime.htm>

受付時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
13:30~14:00	/	手術	手術	手術	/	/
14:00~	○	手術	手術	手術	○	/
16:00~17:00	○	○	○	○	○	/
17:00~	検査	/	/	/	検査	/

*休診日／日曜日・祝日 *土曜日は午前のみ

私、渡辺豊昭は、昭和40年、信州大学第二外科入局後、岡谷塩嶺病院、諏訪赤十字病院を経て、昭和56年8月、松本市芳川村井町で渡辺肛門科医院の名称で肛門専科として開業しました。当初知名度はなく、初日には外来患者数は4名、それも医院建築時の業者の方々でした。しかし国立松本病院当時の牧内正夫院長（信大第二外科当時のオーベンです。）や岩浅武彦院長、その他貴院外科の方々よりの患者さんの紹介が多数あり、お陰様で息をつく事が出来ました。全く早天の慈雨の感じました。

平成16年、愚息渡辺洋行が横浜の松島病院（肛門専科病院です。）での研修を終え、当院に帰って来ました。やはり信州大学第二外科出身で、一時期貴院に在職していた事もあり、前回御紹介の降旗康敬先生（降旗ハートクリニック院長）等多数の松本病院の先生方とも知己を頂き、診療上大変な便宜をはかって頂いております。

平成23年の松本南地震もあり、今までの医院は老朽化もしており、この際新しくしようと考え、旧医院より200m位はなれた村井町北1-2-50に名称も（医）肛門外科渡辺医院と改称し、平成25年6月4日より再始動を始めました。肛門患者は痔疾のみにあらず、直腸や大腸の腫瘍や炎症性腸疾患、直腸内異物、エイズの患者等当院では処理不能の症例が多数あり、その都度貴院の外科はおろか内科へも助けを求めて紹介させて頂いており、きわめて好意的に受けて頂き感謝にたえません。紙面をお借りして御礼申し上げます。

いよいよ中信松本病院と統合され、村井の地に一大医療拠点が出来上がりますね。誠に心強いことです。今後共おさがりする事が多いと思いますがよろしく願います。

ますますの御発展をお祈りしております。

新任医師紹介

よろしくお願いします



松本病院

■循環器内科



かわ ぐち まさ のり
川 口 政 徳
循環器内科医師
平成12年卒
専門：循環器内科

日本内科学会、日本循環器学会、日本心血管インターベンション治療学会
日本内科学会内科認定医、日本循環器学会循環器専門医、医学博士

いつも、すべての患者様を自分の家族に置きかえて考えています。患者様とその家族が、どんな不安や疑問を抱えているのか敏感にとらえて理解・納得できるまで話し合える関係を作りたいと思います。

中信松本病院

■整形外科



いそ べ けん いち
磯 部 研 一
整形外科医長
平成7年卒
専門：整形外科一般、
骨軟部腫瘍外科

日本整形外科学会、中部日本整形外科災害外科学会
日本整形外科学会専門医、日本整形外科認定リウマチ医、日本整形外科認定スポーツ医、身体障害者福祉法第15条指定医

平成25年7月に信州大学整形外科より赴任しました。
松本市出身です。
よろしくお願いします。



さい ま よう こ
齊 間 陽 子
小児科医師
平成22年卒
専門：小児科一般

日本小児学会

小児科医として経験はまだ未熟ですが、一生懸命診察させてもらいたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



たか ざわ あきら
高 沢 彰
整形外科医師
平成19年卒
専門：整形外科一般

日本整形外科学会、日本人工関節学会、
中部日本整形外科災害外科学会

地域の皆様のお役に立てるよう、日々精進してまいります。お困りのことがございましたら、お気軽にご相談下さい。

児童書の 寄贈について

「信州岩波講座／2013」より、子育て支援として当院の小児病棟に岩波書店の児童書を寄贈いただきました。家族が付き添いできない入院中のお子さんでも病棟保育士が読み聞かせをし、さみしさを和らげながら治療できるよう配慮しています。



「松本ぼんぼん」に参加して 8月3日

「第39回夏まつり松本ぼんぼん」に参加しました。今年は松本便局前を出発し、中町通りを経由し松本城へ向かうルートでした。大名町の大会本部前でも踊る機会があり、約70名の職員一同、一体となって踊ることができました。沿道からもたくさん声をかけていただき、ありがとうございました。

連長
武井 洋一
(臨床研究部長)



お知らせ

第4回まつもと医療センター登録医大会のご案内

日時 2013年11月27日(水)

場所 松本東急イン

Opening Remarks 18:45 まつもと医療センター院長 北野喜良

Part1 18:50~19:15

座長 武井 洋一

演題① 結核の現状について 内科系診療部長 早坂 宗治

Part2 19:15~19:40

座長 小池 祥一郎

演題② 急性腹症について 救急科医長 松下 明正

Part3 19:40~21:00

司会 内科医長・医局長 松林 潔

各診療科紹介 & 情報交換会・懇親会

第4回まつもと医療センター登録医大会を左記の予定で開催いたします。登録医の先生方には、別途ご案内をさせていただきます。奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

(まつもと医療センター 地域医療連携室)

中信松本病院

在宅医療研究会

テーマ ポジショニング・介助方法について
※実技での講習となりますので動きやすい服装でご参加ください。

講師 中信松本病院

リハビリテーション科スタッフ

日時 10月24日(木) 18:00~19:30
場所 中信松本病院

リハビリテーション科

地域の医療、福祉に関わる方々が対象の研究会です。たくさんのご参加をお待ちしています。事前申込は必要ありません。

問い合わせ先

中信松本病院 相談支援センター

宮沢・植竹



中信松本病院

健康教室

テーマ 骨粗鬆症について

患者さん、ご家族どなたでも参加頂けます。事前申し込みは不要、参加費も無料です。

日時 11月14日(木)

受付 12:30~13:00

講演 13:00~15:00

講師 整形外科部長 若林 真司

主任栄養士 名和 千紗

場所 まつもと医療センター

中信松本病院第一会議室

問い合わせ先

中信松本病院 外来看護師長

野澤 のさわ

六朗 ろくろう

●編集後記●

夜風が涼しく心地よい季節になってきましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。私事で恐縮ですが、2年前に双子の男の子が産まれ、9月で2歳を迎えました。最近よく言葉を発するようになり、昨日よりも今日と成長していく彼らの姿には目を見張るものがあります。

私も子ども達のように、日々成長して行きたいと思う今日この頃です。



まつもと医療センター

第20号 平成25年10月1日発行

発行人 院長 北野 喜良

松本病院

〒399-8701 長野県松本市村井町南2丁目20番30号

TEL.0263-58-4567 FAX.0263-86-3183

中信松本病院

〒399-0021 長野県松本市寿豊丘811

TEL.0263-58-3121 FAX.0263-86-3190

<http://mmccenta.jp/>